

2024 12月実施 8月～12月 教育活動アンケート（保護者）

Q5.兼山小(小規模特認校)の良さ・魅力は何だと思っていますか。	校長より
1 先生たちの目がいきとどくこと。	<p>保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。</p> <p>皆様からの声を大きく4つに分類させていただき、簡単ではございますコメントさせていただきます。なお、その内容は今のところ(1月9日現在)の校長私見であります。学校HP(1月7日)で紹介したように、今後、職員会で保護者様や子どもたち、地域(学校運営協議会)のみなさんの声を反映させて、今後の教育活動計画(教育課程)を練り上げます。ご理解・ご協力、そして、学校行事や本校の教育活動へのご参加をよろしくお願いいたします。</p> <p>【分類】</p> <p>1 少人数のよさ</p> <p>2 教育環境・異年齢交流のよさ</p> <p>3 小規模特認校制度のよさ</p> <p>4 *さまざまな想い</p>
1 先生方の目が良く行き届いてる。	
1 子どもの事を担任の先生以外の方もよく知っていると思います。 小規模でなければ中々難しい事だとも思います。	
1 先生と生徒の距離が適度に近いこと。アットホームであること。	
1 全先生、全生徒を子どもたちも先生方も把握していること。学年を飛び越えて関わること。 先生方と保護者の距離が近いので、コミュニケーションが取りやすい。	
1 教師の目が行き届いている	
1 人数少ないからこそ、1年から6年までの全校生徒が仲良いと思うし、先生たちの目が行き届いていて親として安心だし、育てやすい環境です。 後、金管はずっと続いている伝統だから、このままやり続けてもらいたいです。	
1 アットホームで、先生方もきめ細やかに温かく関わって下さる。 友達同士も仲良く、お互いをありのまま受け止め合っているような安心感があります。 規模が小さいからこそ、柔軟にいろいろな活動をしてもらえたり、運動会などでも全員に係の仕事など役割があるので、自立心も育つとおもいます。認めてもらえる機会も多いと感じます、	

1	先生方の目が良く行き届いてる。 広々としてる。
1	少人数なところ
1	目が良く行き届く事 6年間同じ仲間で過ごす事が出来る
1	少人数だからできる活動や、縦割りの人間関係がとてもいいと思う。
1	長所は小規模な学校であり、小規模であるため歓迎的な学校であり、子供たちには特別な配慮が施されています。
1	子供一人一人に対して目が届くところ
1	全校生徒の顔がわかること。 学年にとらわれず関わるができること。
1	少人数で一人一人がよくみもらえる。 高学年全員が金管バンドをできる。
1	As crianças se conhecem melhor umas as outras e os professores podem assisti-las com mais tranquilidade e atencao. O relacionamento termina sendo mais proximo e respeitoso. 子どもたちはお互いのことをよりよく知ることができ、教師は子どもたちがより安心して注意を向けられるように支援することができます。関係は最終的により緊密になり、より敬意を持ったものになります。(google翻訳より)
1	少人数なので個々に対応がしやすい
1	学校が生徒ひとりひとりのことをよく知ってくれているところ。保護者との距離も近く、学校に電話しても、どなたが出てもすぐ分かってくれる。
1	育てやすい環境、先生達と子供たちの距離感はどここの学校よりも良いかなと思ってます
2	みんなが仲良く、お互いに協力しあい学校生活を送っている。 先生がよく見てくださっている

【1 少人数のよさ】

少人数のよさとして、「アットホーム」という言葉で評価いただいています。その意味をあらためて辞書で調べてみると、「居心地が良い」「快適な」「親しみやすい」とありました。直訳的には「家庭的な」と訳せます。問題がないわけではありません。悩みもあります。家庭でも兄弟や親子でのけんかは起きます。それも社会に出てからの人間関係づくりのための経験かと思えます。問題については早期発見・解決をめざしています。

教師の目が行き届いているという内容の評価を真摯に受けとめ、さらに「目は離さず、手は出し過ぎず」というスタンスで職員一同進んでいきます。

ご理解・ご協力お願いいたします。

2	アットホームで、友達同士とても仲良しで認め合えていると思います。
2	子供達が違う学年とも交流する機会が多く、先生の目も行き届くところ
2	全校生徒や全学年の先生の顔と名前が分かる。 ファミリー活動がある。(他学年との交流が多い) 必ず金管に参加できる。 学区外の友達ができる。
2	自然豊か、異年齢で関わることが多いこと
2	生徒みんなが仲良し 先生のケアが細やか
2	横だけでなく縦の交流が盛んなところ。
2	学年をまたいでの活動もたくさんあって、自然と助け合う姿がたくさんある学校だと思っています。
2	自然豊か、縦割りで交流できる
2	年上、年下関係なく、皆んなが気軽に気さくに声を掛け合える、一緒に遊べる、一緒に楽しめている、その様なところが兼山小学校の良さ・魅力だと見ていて感じています。
2	全学年が話しやすい環境である
2	他学年との繋がりがあって仲が良いところ

【2 教育環境・異年齢交流のよさ】

1と2の分類は、少々ムリがあるかもしれませんが、好意的に読み取っていただけるとうれしいです。

同級生は少人数で、仲が良い。さらに本校では異年齢集団活動（ファミリー）を重視しています。県内外他校の学校HPを訪問して、その点について勉強してみると、いろんな工夫があるので、さらに！と思うこともあります。できることから進めます。

昨年、兼小FANS!の方々の集まりに参加させていただきました。異年齢集団です。大人になっても仲がよく、子どものころの話でも、盛り上がっておられました。子どもたちも、小学生時代にたくさん異年齢で一緒に何かをした経験があればあるほど、地元（ふるさと）を大切に思う気持ち、兼山が好きっ！という気持ちが大きくなると思います。それが、将来の子ども自身にとって、そして、兼山という地域にとって大きな財産になると考えています。

	<p>Atividades na natureza,a banda ,sempre buscam solucoes para as crianças ter uma educacao positiva e feliz.</p> <p>2 自然の中で活動するこのバンドは、子供たちが前向きで幸せな教育を受けるための解決策を常に模索しています。 (google翻訳より)</p>	
2	<p>他にはない金管バンドの活動とアットホームな感じとか、子どもたちの笑顔が自然にでて、伸びやかな感じがする所だと思います。</p>	
2	<p>ファミリーなどを通して異学年との交流が自然にできている。 先生方が一人一人に手厚く支援して下さる。</p>	
3	<p>他の学校が合わなかった子も兼山小で小学校生活が送れるところ</p>	<p>【3 小規模特認校制度のよさ】 特認校制度を利用されていない、兼山地区在住の保護者様からの声です。こういう声を例えば園での学校説明会で紹介させていただきます。ありがとうございます。</p>
3	<p>普段一緒に学習する機会がない違う地区の子供達と一緒に学校生活が送れるところ</p>	
3	<p>人数が少しでも増えるところが良い点。</p>	
3	<p>特認校にしたことで、兼山小学校の良さを、兼山以外の人にも多くしてもらえるところ。</p>	
4	<p>カリキュラムが、他校と異なる。 少人数がゆえにできる事がある。 課外活動、地域活動、コロナ禍において可能な活動(音楽の時間に使える楽器なども)も異なる。</p> <p>異学年交流が可能で、そこから得られるものが大きい。実社会で役に立てる経験を、小学生の低学年のうちから積むことができる。</p> <p>特性ある子にとっては、普通級に属し、そこを手本に学ぶ経験ができる。どんな子もできる限り周りから切り離されることなく、お互いに認知しやすい。</p>	<p>【4 *さまざまな想い】 一人の方から様々な視点で意見をいただくことができました。ありがとうございました。それをさらに分類できればよかったのですが、*さまざまな想いということでまとめさせていただきました。</p> <p>すべて、子どもたちのよさ(素直さ・真面目・優しさ)と保護者・地域の方々の学校教育活動への理解と協力、職員を信頼してくださっていることが根底にあると受け止めています。ありがとうございます。</p>
4	<p>Atividades na natureza,a banda,sempre buscam solucoes para as crianças terem uma educacao positiva e feliz.</p> <p>4 自然の中で活動するこのバンドは、子供たちが前向きで幸せな教育を受けるための解決策を常に模索しています。 (google翻訳より)</p>	

こどもと一緒に兼山小の魅力を話しました

(1)自然がいっぱいの環境の中で学べること。周りを森に囲まれ常に季節、自然を身近に感じられて学校にくる楽しみの一つであること

(2)小さな喧嘩はあっても意地悪やいじめがないこと

理由は委員会を通していじめや喧嘩についてみんなで話す場があるから 周りの気持ちを聞いたり自分の気持ちを話すことで分かることがたくさんある。人数が少ないからこそ、学年の縛りを超えてより深く仲良くできる

(3)金管バンドへの参加も大きな魅力の一つ

4 いろんな楽器に挑戦できる

できないことにみんなで挑戦する時間が嬉しい

(4)先生たちがこどもたちの意見を聞いてくれること

やりたいことを相談できて、実現するための手助けをしてくれる やりたいことを素直に話せる

(5)先生、保護者、地域の方々が名前を覚えてくれて気軽に話しかけてくれる

何より特認校制度を活用していても、兼山の子、特認校の子という線引きなく、こどもたちも先生方、地域の方々も温かく受け入れてくれること

もう一つの故郷だと思わせてくれる温かい環境に日々感謝しながら暮らしています

また、校長としては、これら教科書にない本校独自の教育活動を支えている職員の努力に感謝・感謝の毎日です。

すべては、子どもたちの健やかな成長を願うための活動です。学校と家庭と地域が目的を共有すれば、もっともっと素敵な活動ができると思います。学校教育目標「豊かな心と確かな学力を身につけたたくましい子」が共通の目標になればいいなと思います。それが、可児市が目指す「笑顔の学校」であり、未来の笑顔につながる笑顔の“もと”を子ども一人一人に育むことになると考えます。合言葉的には、私が校長である期間は、「知りたいなく好きだなく楽しいな」と思える「ひと・もの・こと」を増やすことが学校教育目標の具現につながると信じて、教育教育活動を進めていきます。

一人一人の名前や特徴などを、担任以外の先生にも覚えてもらえる。

子どもたちも異学年でもお互いに知り合い、学校全体で交流することができる。

学年が上がる事で、支えられる側も支える側にもなれる。

自分から行動するチャンスを得られる。

4 自分から行動せねばならない一見厳しく現実的でもある機会を幼いうちから得られ、他が社会人になってからしか経験

できない世界を経験できる。

多角的視点を持つ将来のリーダー的素養を積むことができる。

先生に目をかけてもらいやすい。

先生にとっても、さまざまな特性を持つ子どもがいることを知り、その反応や表情などに気がつく機会が得られる。

保護者様からのたくさんの声に感激しました。アンケートの記述欄にこんなにたくさん建設的な意見をいただけてうれしいです。私のコメントも長くなりました。最後まで丁寧に読んでいただき、ありがとうございました。

	<p>美濃金山城を含め、自然豊かな環境で、地域の引き継がれてきている歴史や文化を学んだり、体験できたりするところ。</p> <p>4 地域の方々とも一緒になって育ててもらえるところ。</p> <p>少人数で異学年でも仲良くできたり、学んだりできるところ。</p> <p>金管をはじめとし、兼山ならではの学びがあるところなところ。</p>
4	自由度が高い
4	<ul style="list-style-type: none">・子ども全員が顔見知り・先生全員が（と思っている）生徒の顔・名前を知っている所・校長室に気軽に遊びに行ける所・地域の特色を活かした学びの時間がある（町探検が古城山や史跡巡り）・小規模故に各個人に責任ある仕事が回ってくることで生徒本人の考える力、まとめる力、文章を作る力などなど多彩な力が身につく